

島根県の農林水産業の概要

特徴・取組

島根県は、東西に230kmと細長く、東は鳥取県、西は山口県、南は広島県に接し、北は日本海に臨んでおり、島根半島の北方40～80kmの海上には、島前（どうぜん）、島後（どうご）などから成る隠岐諸島がある。また、中海（なかうみ）・宍道湖（しんじこ）の汽水湖がある。島根県の気候は、北陸型と北九州型の中間に位置し、年間降水量は1,600mm～2,300mmと湿度が高く肌が潤い美肌県として有名である。

令和2年の15歳以上就業者数は約34万8千人で、平成27年に比べ約1千人減少した。また、昭和25年の第1次産業の割合は66%であったが、一貫して低下し続けている。

産業3部門別の割合は、第1次産業が約7%、第2次産業が約24%、第3次産業が約70%となっており、全国平均と比べると、第1次産業の割合が大きくなっている。

島根県の農業は、全国の中でも農地に占める水田の割合が高く、気象や土壌の条件も適していることから、長年米づくりが主体となってきたが、生産者の高齢化や後継者不足、人口減少に伴う需要の減少など、今後の需給見通しが不透明な状況にある。

林業は、人工林のスギ・ヒノキを中心に利用期を迎えており原木生産量は増加し、それに伴い林業就業者数も増加傾向にある。

水産業は、沖合に対馬暖流が流れており、多種多様な魚介類が生息する豊かな漁場が広がり、全国屈指の水産業の盛んな県となっている。

より収益性の高い島根農業の実現を目指し、地域の中核となる経営体の誘致や、水田を活用した園芸の産地化を進めるための拠点づくりに取り組んでいる。

島根県は、「美味しまね認証制度」を全国に先駆けて県独自のGAP認証として導入した。「美味しまねゴールド（青果物（きのこ類除く）・穀物）」は、全国で初めて「国際水準GAPガイドライン」準拠確認（令和4年6月）され、その後、きのこ類、茶も準拠確認をされ、市場での競争力を一層強化している。

少子・高齢化が進む中、農林水産業の将来ビジョンについて、可能な限り早期に農業産出額100億円増を目指す。また、今後10年間で担い手がいる集落の割合80%を目指す。

林業は、森林経営の収益力向上と林業就業者の確保により、「伐って・使って・植えて・育てる」循環型林業の定着・拡大を進める。水産業は、令和21年の沿岸自営漁業の産出額54億円を目指す。また、漁業生産の中核をなす基幹漁業集落53集落を維持する。

主な農林水産物

出典(写真):島根県

しじみ

宍道湖（しんじこ）は、日本でも有数の産地。「宍道湖産ヤマトシジミ・宍道湖しじみ」GI登録産品（令和7年）。（令和6年漁獲量全国1位）



アカムツ

「白身魚のトロ」と称され、口の中で脂がとろけるような食感。浜田市では、「どんちっちノドグロ」としてブランド化。



水稻

主要品種である「つや姫」「きぬむすめ」や新たに導入した「つきあかり」は、販売先からの需要が高い。



肉用牛

「しまね和牛」は、島根県で生産される黒毛和牛。全共の肉質部門で上位入賞し、肉質および脂肪の質が高く評価された。



かき

「西条柿」の栽培面積・生産量は全国有数。近年、半生タイプの「あんぼ柿」が全県へ生産拡大。「東出雲のまる畑干し柿」GI登録産品（令和元年）。



ぶどう

「デラウエア」のハウス加温栽培面積は全国有数。大粒品種の「シャインマスカット」も年々生産量が増え、平成30年には赤系新品種「神紅（しんく）」を開発。



えのきたけ

平成30年に県オリジナルエノキタケ「黄雲（こううん）」を開発。



アジサイ

島根県オリジナルアジサイの6品種目となる「月うさぎ」をR6年から本格出荷開始。



ブロッコリー

出雲市を中心に栽培。当初、女性を中心となって栽培が広がったこともあり「かあちゃんブロッコリー」として生産が定着。



ねぎ

邑智（おおち）郡や出雲市が主産地で、「おおち鍋ねぎ」や「神在（かみあり）ねぎ」など商品化。



島根県内の各地域における農林水産物

隠岐地域

【農畜産物】 水稻、肉用牛

【林産物】 しいたけ

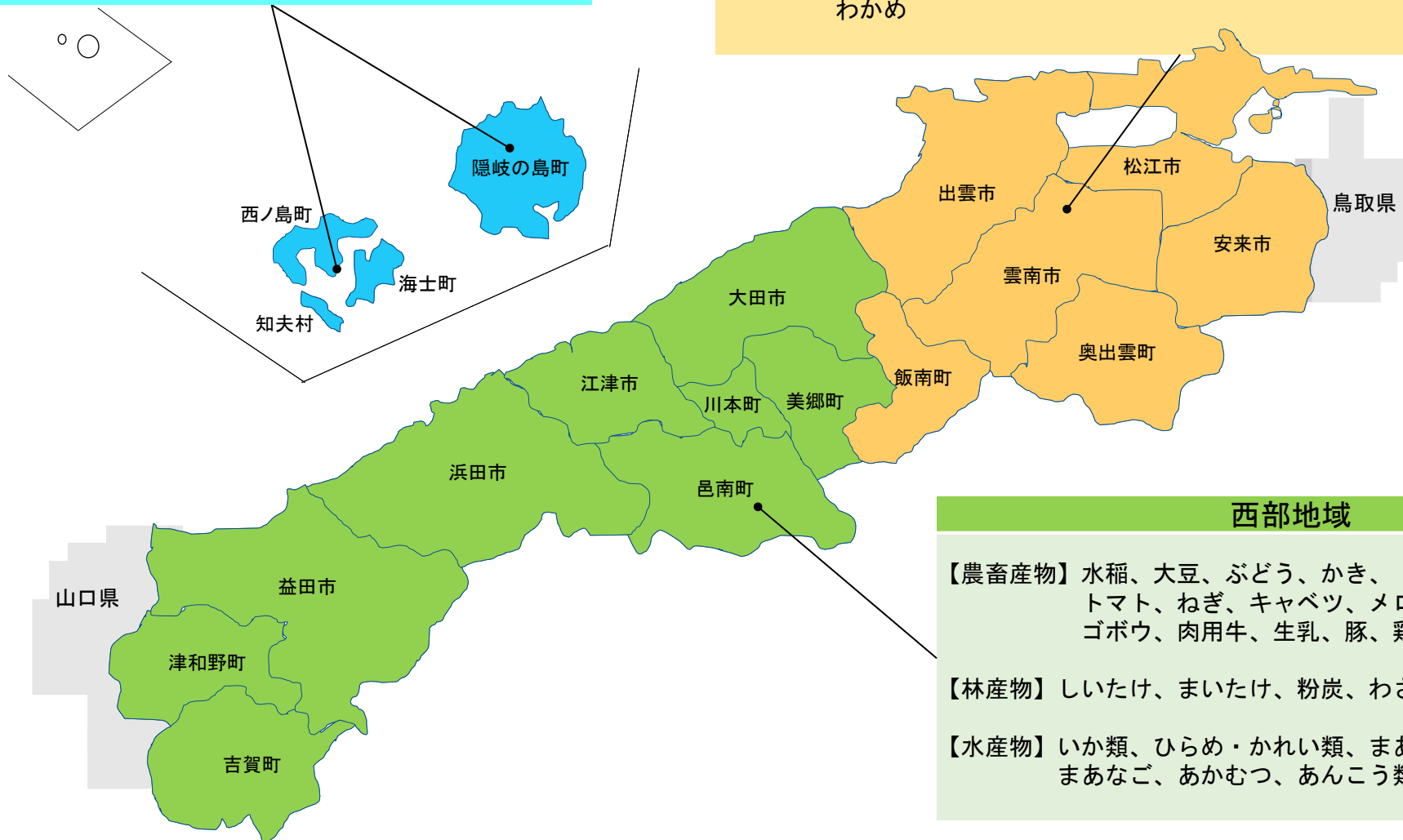
【水産物】 ずわいがに、ぶり類、いか類、まあじ、いわし類、わかめ、いわがき、えっちゅうばい

東部地域

【農畜産物】 水稻、二条大麦、そば、大豆、ぶどう、イチジク、かき、イチゴ、トマト、ねぎ、キャベツ、タマネギ、アスパラガス、ブロッコリー、エゴマ、ショウガ、トウガラシ、つるむらさき、肉用牛、生乳、鶏卵

【林産物】 しいたけ、まいたけ、エリンギ、たけのこ、粉炭

【水産物】 しじみ、いか類、ぶり類、まあじ、まだい、とびうお、あかあまだい、わかめ



西部地域

【農畜産物】 水稻、大豆、ぶどう、かき、ユズ、栗、イチゴ、トマト、ねぎ、キャベツ、メロン、山菜、エゴマ、ゴボウ、肉用牛、生乳、豚、鶏卵

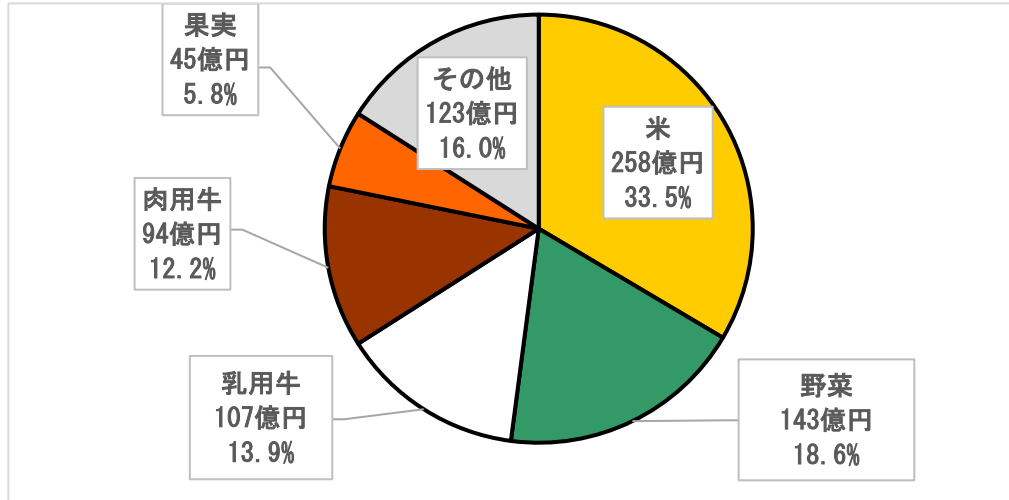
【林産物】 しいたけ、まいたけ、粉炭、わさび葉柄、わさび根

【水産物】 いか類、ひらめ・かれい類、まあじ、さば類、まあなご、あかむつ、あんこう類、あゆ

島根県の農業（1）

- ・農業産出額は770億円で全国41位。うち米が258億円（33.5%）、野菜が143億円（18.6%）、畜産が292億円（37.9%）。
- ・農畜産物の生産状況は、うるいが全国4位、干し柿、プルーンが8位、ユズ（柚）が10位、二条大麦が13位。

農業産出額の概略



農畜産物の生産状況

区分	年次	島根県	全国	全国順位
二条大麦	収穫量	1,000 t	152,900 t	13 *
はだか麦	収穫量	65 t	16,500 t	16 *
ぶどう	収穫量	1,930 t	164,600 t	16
乳用牛	飼養頭数	10,500 頭	1,293,000 頭	18
生乳	生産量	75,649 t	7,418,222 t	13
干し柿	生産量	125 t	6,660 t	8
ユズ（柚）	収穫量	243 t	28,144 t	10
いちじく	収穫量	112 t	9,260 t	15
プルーン	収穫量	2 t	1,906 t	8
うるい	収穫量	4 t	152 t	4 *

出典：「作物統計」、「果樹生産出荷統計」、「畜産統計」、「牛乳乳製品統計」、「特産果樹生産動態等調査」、「地域特産野菜生産状況」

農業産出額のデータ

区分	島根県の農業産出額	全国の農業総産出額	全国順位
農業産出額	770 億円 (100.0)	107,801 億円 (100.0)	41
米	258 億円 (33.5)	25,524 億円 (23.7)	32
麦類	x 億円	582 億円	- *
雑穀	1 億円	87 億円	17
豆類	2 億円	621 億円	25
いも類	6 億円	2,565 億円	35
野菜	143 億円 (18.6)	25,510 億円 (23.7)	40
果実	45 億円 (5.8)	10,112 億円 (9.4)	40
花き	14 億円	3,423 億円	44
工芸農作物	1 億円	1,577 億円	36
その他作物	x 億円	583 億円	- *
畜産	292 億円 (37.9)	36,654 億円 (34.0)	30
肉用牛	94 億円	7,861 億円	23
乳用牛	107 億円	10,035 億円	14
生乳	102 億円	8,937 億円	14
豚	35 億円	7,567 億円	33
鶏	52 億円	10,170 億円	34
鶏卵	37 億円	5,764 億円	33
ブロイラー	14 億円	4,259 億円	34 *
その他畜産物	4 億円	1,021 億円	14
加工農産物	2 億円	565 億円	25

出典：「令和6年農業総産出額及び生産農業所得(全国)」、「令和6年農業産出額及び生産農業所得(都道府県別)」
注：()は農業総産出額及び農業産出額を100%とした割合である。

都道府県の農業、林業、漁業の表の見方

・令和8年3月31日時点における最新の統計等の公表データを使用

・表中に使用した記号は次のとおり

「O」：単位に満たないもの(例:0.4t→0t)

「-」：事実のないもの

「…」：調査を欠くもの

「x」：秘密を保護するため統計数値を公表しないもの。

「*」：秘密を保護するため統計数値を公表していない都道府県を除いた順位

島根県の農業（2）

- ・耕地面積は3万5,600haで全国36位。うち田が2万8,800ha、畑が6,840ha。
- ・農業経営体数は1万1,134経営体で全国36位。うち法人経営体数が525経営体で29位。
- ・国、市町村認定及び都道府県認定経営体数は1,141経営体で全国42位。うち法人数が444法人で29位。
- ・農業生産関連事業は、農家民宿の年間販売（売上）金額が2,700万円、農業経営体数は10経営体で20位。

耕地面積

区分	島根県	全国	全国順位
耕地面積	35,600 ha	4,272,000 ha	36
田	28,800 ha	2,319,000 ha	31
畑	6,840 ha	1,952,000 ha	35
普通畑	5,030 ha	1,118,000 ha	30
樹園地	1,280 ha	248,600 ha	40
牧草地	526 ha	585,900 ha	23
参考) 総土地面積	6,707.79 km ²	377,979.74 km ²	19

出典：「令和6年耕地面積(7月15日現在)」、「令和8年全国都道府県市区町村別面積調(1月1日時点)」
(国土交通省国土地理院)

荒廃農地面積

区分	島根県	全国	全国順位
荒廃農地面積	7,015 ha	256,667 ha	17

出典：「令和6年度の荒廃農地面積(令和7年3月31日現在)」

農業経営体数、農家数及び集落営農数

区分	島根県	全国	全国順位
農業経営体数	11,134 経営体	836,054 経営体	36
法人経営体数	525 経営体	33,819 経営体	29
総農家数	22,338 戸	1,394,135 戸	30
販売農家数	10,365 戸	792,808 戸	37
参考) 世帯総数	269,892 世帯	55,830,154 世帯	46
集落営農数	541 集落営農	13,952 集落営農	11

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)、「令和7年集落営農実態調査結果(令和7年2月1日現在)」

担い手への農地の集積状況

区分	島根県	全国	全国順位
担い手への集積面積	13,883 ha	2,627,068 ha	35
集積率	39.0 %	61.5 %	29

出典：「農地中間管理機構の実績等に関する資料(令和6年度版)」

基幹的農業従事者数及び認定農業者数

区分	島根県	全国	全国順位
基幹的農業従事者数	9,903 人	1,036,228 人	39
男	6,723 人	659,332 人	40
女	3,180 人	376,896 人	39
65歳以上	8,172 人	721,311 人	39
基幹的農業従事者数に対する65歳以上割合	82.5 %	69.6 %	-
国、市町村認定及び都道府県認定経営体数	1,141 経営体	212,136 経営体	42
法人数	444 法人	29,684 法人	29
参考) 人口総数	671,126 人	126,146,099 人	46

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」、「認定農業者の認定状況(令和7年3月末現在)」、「令和2年国勢調査」(総務省統計局)

農業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	島根県	全国	全国順位	
農産加工	総額	4,186 百万円	1,006,107 百万円	43
	事業体数	440 事業体	26,910 事業体	32
農産物直売所	総額	8,794 百万円	1,134,381 百万円	46
	事業体数	250 事業体	20,960 事業体	33
観光農園	総額	303 百万円	39,113 百万円	34 *
	農業経営体数	40 経営体	4,350 経営体	33
農家民宿	総額	27 百万円	4,933 百万円	30 *
	農業経営体数	10 経営体	770 経営体	20
農家レストラン	総額	328 百万円	39,900 百万円	39 *
	事業体数	10 事業体	1,390 事業体	42

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

島 根 県 の 林 業

- ・ 林業産出額は50.7億円で全国27位。うち木材生産が38.3億円、栽培きのご類生産が10.5億円。
- ・ 林産物の生産状況は、素材生産量が全国18位、広葉樹が全国4位、わさび葉柄が7位、まいたけ、エリンギが10位。

林業産出額

区 分	島 根 県	全 国	全国順位
林業産出額	50.7 億円	4,769.8 億円	27
木材生産	38.3 億円	2,369.4 億円	21
栽培きのご類生産	10.5 億円	2,322.7 億円	31

出典：「令和6年林業産出額」

林野面積

区 分	島 根 県	全 国	全国順位
林野面積	527,166 ha	24,744,214 ha	15
国有林	31,500 ha	7,117,059 ha	26
民有林	495,666 ha	17,627,155 ha	9
人工林面積	205,631 ha	10,059,386 ha	18

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林業経営体数

区 分	島 根 県	全 国	全国順位
林業経営体数	525 経営体	23,300 経営体	16
法人経営体数	61 経営体	3,813 経営体	25

出典：「2025年農林業センサス(令和7年2月1日現在)」

林産物の生産状況

区 分	島 根 県	全 国	全国順位
素材生産量	354 千m ³	19,763 千m ³	18
針葉樹	284 千m ³	18,398 千m ³	21
ひのき	67 千m ³	3,019 千m ³	16
すぎ	193 千m ³	11,716 千m ³	17
広葉樹	70 千m ³	1,365 千m ³	4
まいたけ	生産量 178 t	56,609 t	10 *
エリンギ	生産量 6 t	34,639 t	10 *
わさび葉柄	生産量 10 t	966 t	7
木酢液等	生産量 1,310 l	1,535,689 l	14 *

出典：「令和6年木材統計」、「令和6年特用林産基礎資料」

製材工場数

区 分	島 根 県	全 国	全国順位
製材工場数	67 工場	3,547 工場	29
製材用素材の入荷があった工場数	67 工場	3,492 工場	27
国産材のみ	39 工場	3,013 工場	34
国産材と輸入材	28 工場	386 工場	3

出典：「令和6年木材統計」

島根県の水産業

- ・漁業産出額のうち、海面漁業・養殖業産出額は211億円で全国20位。
- ・水産物の生産状況は、海面漁業のあなご類が全国1位、さば類、まあじが2位、海面養殖業のわかめ類が10位、内水面漁業のしじみが1位。
- ・漁業生産関連事業は、漁家民宿の年間販売（売上）金額が6,600万円で全国19位、漁業経営体数は10経営体で13位。

漁業産出額

区分	島根県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業産出額	211億円	14,785億円	20
海面漁業	200億円	8,894億円	12*
海面養殖業	10億円	5,891億円	28*

出典：「令和6年漁業産出額」

漁業経営体数

区分	島根県	全国	全国順位
海面漁業経営体数	1,210経営体	65,662経営体	22
内水面漁業経営体数	415経営体	4,076経営体	2

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁業就業者数

区分	島根県	全国	全国順位
海面漁業就業者数	1,952人	121,389人	22
男	1,915人	109,757人	22
女	37人	11,632人	31

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

漁船隻数

区分	島根県	全国	全国順位
漁船隻数	1,660隻	109,284隻	24
動力漁船	937隻	58,907隻	26

出典：「2023年漁業センサス(令和5年11月1日現在)」

水産物の生産状況

区分	島根県	全国	全国順位
海面漁業・養殖業生産量	101,608 t	3,589,121 t	7*
海面漁業漁獲量	101,007 t	2,786,195 t	6
まあじ	12,249 t	92,282 t	2*
さば類	27,601 t	255,875 t	2
あなご類	401 t	1,851 t	1*
海面養殖業収獲量	601 t	802,927 t	31*
わかめ類	142 t	39,658 t	10*
かき類	186 t	148,149 t	17*
内水面漁業・養殖業生産量	4,703 t	47,046 t	4
内水面漁業漁獲量	4,688 t	17,915 t	2
しじみ	4,647 t	9,462 t	1
内水面養殖業収獲量	15 t	29,131 t	39
あゆ	9 t	3,487 t	19

出典：「令和6年漁業・養殖業生産統計」

漁業生産関連事業の年間販売（売上）金額及び事業体数

区分	島根県	全国	全国順位	
水産加工	総額	561百万円	193,147百万円	29
	事業体数	20事業体	1,160事業体	18
水産物直売所	総額	79百万円	34,259百万円	34*
	事業体数	10事業体	780事業体	18
漁家民宿	総額	66百万円	5,440百万円	19*
	漁業経営体数	10経営体	540経営体	13
漁家レストラン	総額	-百万円	13,511百万円	-*
	事業体数	-事業体	380事業体	-

出典：「令和6年度6次産業化総合調査結果」

島根県の農林水産業の話題等（1）

「第2期島根県農林水産基本計画（令和7～令和11年度）」を策定

生産性・収益性が高い産業構造への転換を図り、次代を担う若い世代にとって魅力ある農林水産業を確立し、持続可能な農林水産業・農山漁村の実現を目指し、将来ビジョンと重点的に推進する項目を定め、農林漁業者・関係機関・県が一体となり目標達成に向けて取り組む第2期島根県農林水産基本計画を策定した。

- (1) 農業分野では、農業産出額100億円増と、農村における営農や暮らしを維持する観点から農業集落における担い手不在の解消と抑制を目指し、農業経営の改善に向けた取組を進めるとともに、中山間地域の営農体制の維持に向けた取組を強化する。
- (2) 林業分野では、令和12年の原木生産量80万m³の目標達成に向け、原木生産の生産性向上等による森林経営の収益力向上、最も高い価格で取引される製材用原木の需要拡大、原木生産や森林整備を支える林業就業者の確保・定着などに取り組む。
- (3) 水産業分野では、令和21年の産出額54億円に向けて持続可能な沿岸自営漁業の確立と漁業生産の中核をなす基幹漁業集落の維持・発展を目指し、沿岸自営漁業者の確保とともに漁業者の所得向上に向けた取組を強化する。



県全体に広がっている水田園芸（キャベツ・安来市）

収益性の高い農業への転換 ～水田園芸の推進～

島根県は農地に占める水田の割合が高く、水田における収益性向上が農業経営の継続性を確保する上で重要であることから、水田でも比較的取り組みやすい野菜の6品目を選定し、産地化に取り組んでいる。

【取組のポイント】

- (1) 「拠点方式」による産地化
 - ・ 今後需要拡大が見込まれ、機械化や省力化が可能な6品目（キャベツ、タマネギ、ブロッコリー、白ネギ、ミニトマト、アスパラガス）を掲げ、取組を拡大
 - ・ 農業者が安心して取り組めるよう、生産から販売までを地域で共同化・分業化する「拠点方式」による産地化を推進
- (2) 生産性の向上
 - ・ 排水対策や栽培管理の徹底、作業改善による労働時間の削減などの取組を進め、収益性の改善を図ることで規模拡大を後押し
- (3) 労力補完の仕組みづくり
 - ・ 規模拡大に向けて、機械の共同利用や調製施設の整備などの共同化・分業化の仕組みづくりを支援
- (4) 安定的な販路の確保
 - ・ 市場価格に左右されない安定した経営を行っていくため、需要の増加が見込まれる加工・業務用向け野菜などの契約取引を推進



定植機や収穫機等の導入による農作業の機械化
（タマネギ全自動収穫機）

島根県の農林水産業の話題等（2）

～美味しまね認証を核としたGAPの推進～

島根県では、平成21年から「美味しまね認証制度（県版GAP）」を創設し、GAPの取組を推進。さらに平成31年1月にスタートした上位基準「美味しまねゴールド」は、国際水準GAPガイドライン準拠確認全国第1号となった。GAPの実践は、産地の信頼性を確保し、経営上のリスクを軽減させ、農業者の経営改善を図る有効なツールであり、引き続き認証拡大に取り組む。



出典：島根県

有機農業の推進

島根県では、全国に先駆けて、県立農林大学校に有機農業の専攻課程を設置するなど、有機農業の拡大に積極的に取り組んでいる。米をはじめ、ホウレンソウやコマツナなどの葉物野菜や、ケール、桑など加工原料の有機栽培が多く行われており、県の耕地面積に占める有機JAS認証ほ場の面積割合が全国上位となっている。



有機野菜の栽培状況

「しまね和牛」の生産拡大

令和4年に「第12回全国和牛能力共進会」での肉質日本一獲得、「全国肉用牛枝肉共励会」で令和4年、5年の二年連続日本一獲得を契機に、全国規模の品評会での「同一年・同一ブランド2冠達成」をキーワードに「しまね和牛」のPRを強化し、県内外でその品質の高さが評価されるようになった。また、その品質の高さから、「しまね和牛」の輸出への動きも進みつつある。

さらに、令和6年6月には、肉量・肉質ともに卓越した能力のスーパー種雄牛「暁之藤（あきのふじ）号」を基幹種雄牛に選抜。今後は、消費者ニーズの変化に対応した肉用牛の改良を進めていく。

引き続き「しまね和牛」の評価向上を図るとともに、持続可能な肉用牛生産体制を構築し、担い手確保・育成による産地の維持、生産拡大に取り組む。



しまね和牛